



TiNSJ1275SNZZ

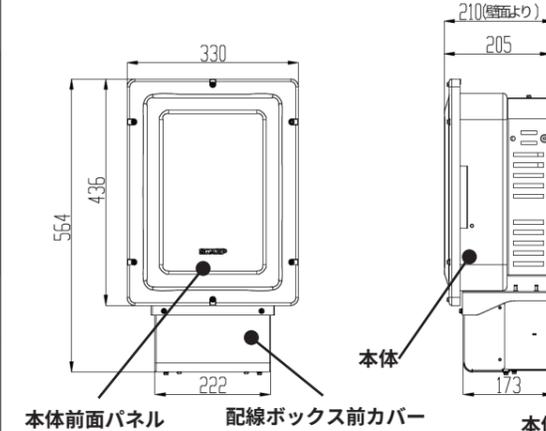
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標、または、登録商標です。  
【製造元】シャープ株式会社

本製品は、①配線方法（ダクト/PF管）、②製品の仮置き方法、③取付金具の壁面への取り付け順の確認ポイントがあります。必ず同梱の重要事項のご案内をご確認の上、設置作業をおこなってください。

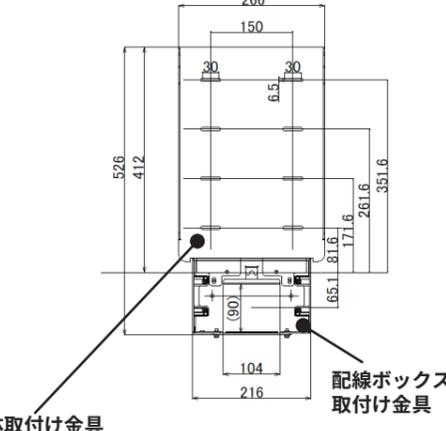
外形寸法図/重量 JH-WDT11：8kg (取付金具を含む)

壁が蓄電池用コンバータの重量に耐える構造であることを確認してください。(補強は施工者様で対応をお願いします)

◆本体および配線ボックス

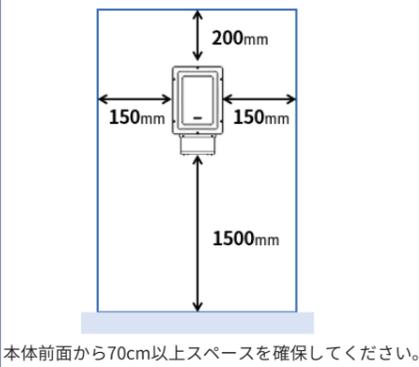


◆取付金具



◆離隔距離

蓄電池用コンバータの周囲に換気、雨水の飛散及び冠水、冠雪防止のため、スペースを確保してください。  
パソコン/複数設置時の離隔距離は、裏面を参照ください。



◆設置工事を始める前に、必ずこの設置工事説明書と設置工事マニュアルをお読みになり、正しく安全に設置してください。  
◆蓄電池用コンバータの電気工事をおこなう場合は、第一種または第二種電気工事士の資格を保有し、電気設備・機器の設置に適用される全ての法規、規格に関する知識を有する人がおこなってください。本書の内容および、設置に関する全ての安全上の注意を理解して設置をおこなってください。  
◆工事中に異常を発見した場合は、速やかに工事を中断し販売会社または弊社までご連絡ください。  
◆ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。  
◆施工点検の絶縁抵抗測定に使用する絶縁抵抗計は、直流メガー（500V）を使用してください。  
◆本書に記載されていない設置や施工をおこなったことが原因で故障が生じた場合、保証の対象外となります。

○誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分しています。

- 警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容
- 注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を与えるおそれがある」内容
- 禁止** してはいけないこと
- 必須** しなければならないこと

**警告**

電気工事は電気設備技術基準や内線規程及び労働安全衛生規則を守り、絶縁用保護具（低圧用ゴム手袋）を着用、または活線作業用器具を使用し、正しく安全におこなう。  
火災・感電・けがのおそれがあります。  
作業前に端子台に電圧が印加されていないことを確認する。  
感電・けがのおそれがあります。  
設置工事マニュアルで規定されている防水処理を実施する。  
製品内部に水分や腐食性物質が浸入したり、温かく湿った空気が流入したりすることによって製品内部が結露してしまい、発火・発煙・感電・機能障害・停電のおそれがあります。  
外來ノイズによる誤動作、万一の漏電の際の感電や落雷時の被害拡大、火災の発生を防ぐため、蓄電池用コンバータのアースは蓄電池連携型パワーコンディショナ（以下、パワコン）のアース端子に接続することで、パワコンにて接地する。  
(本機種は電気設備の技術基準の解釈第17条3項、および4項で規定される直流地絡検出機能を備えているため、接地抵抗を500Ω以下となるように接地してください。詳細は設置工事マニュアルを確認してください。)  
接地抵抗は長期間維持されるように施工する。

蓄電池用コンバータの取付け具を壁面へ固定するネジは、壁面内のラス網、その他の金属と電氣的に絶縁する。  
火災・感電・けが・外來ノイズによる誤動作のおそれがあります。  
配線が完了しても運転開始まではパワコン専用ブレーカーとパワコン本体のDCスイッチと蓄電池本体内のブレーカーは「OFF」にしておく。  
配線工事中に感電のおそれがあります。  
太陽電池アレイケーブルとモジュール出力ケーブルの接続はすべての配線を終えたあとに接続する。  
配線工事中に感電のおそれがあります。  
足場がぬれた状態や手や身体がぬれた状態での作業はしない。  
感電・けがのおそれがあります。  
設置工事マニュアルで規定した以外の分解・改造・修理・筐体の穴加工および修理はしない。  
内部には高電圧の箇所があり、感電・けがのおそれがあります。また、安全の保証ができません。

**注意**

設置時に、製品、建屋、設置場所を傷つけないよう注意する。  
設置用部材、配線用部材は、必ず同梱のもの、もしくは、設置工事マニュアルで指定のものを指定数量使用する。  
機器本来の性能が発揮できず、故障の原因となる場合があります。  
塗装したり、薬品（シンナー等）で拭いたりしない。  
塗装性能が変わって耐候性が悪くなり、故障の原因となる場合があります。  
上に乗ったりぶら下がったりしない。上にものを置かない。  
落下・転倒して、けがのおそれがあります。

船舶・飛行機・移動用車両には設置しない。  
予期せぬ動作をするおそれがあります。  
インパクトドライバーは使用しない。  
高トルクをかけると摩擦熱が生じ、ネジ部が膨張して焼き付けを起こす可能性があります。ネジの締めすぎ等により、サービス対応に支障をきたす可能性があります。  
製品の中に設置工事マニュアルに記載されていない物を入れない。  
故障の原因となります。

**警告：設置場所について**

湿気が多い場所に取り付けない。湯気のある場所に設置しない。  
標高2,000m以上に設置しない。風通しが悪い場所に設置しない。  
絶縁が悪くなり、火災・感電のおそれがあります。  
なるべく周囲温度45℃を超過する場所に設置しない。  
部品が劣化して、発煙・発火のおそれがあります。  
油煙の多い場所に設置しない。  
電気回路や部品が劣化して、焼損・発火するおそれがあります。  
腐食性ガスや液体に触れる場所（鶏舎・畜舎・化学薬品を取り扱うところ等）に設置しない。  
電気回路や部品が劣化して、発煙・焼損するおそれがあります。  
可燃性ガスなど漏れるおそれのあるところには設置しない。  
火災のおそれがあります。  
冷気が直接吹き付ける場所に設置しない。  
霜が付き、漏電・焼損するおそれがあります。

蓄電池用コンバータ底面に積雪が達するおそれがある場所には、設置しない。  
火災・感電のおそれがあります。  
天地逆にしたり、横に倒したり、傾いた状態で設置しない。  
内部の放熱が不十分となり部品が劣化して発煙・発火のおそれがあります。  
医療用機器の近くに設置しない。  
医療用機器が誤動作するおそれがあります。  
閉め切った場所（屋根裏・押入れ・納戸・床下等）に設置しない。  
出力抑制機能が働いて、機器本来の性能が発揮できなくなると共に、部品が劣化して、発煙・発火するおそれがあります。  
取付け金具は地面と垂直でない壁には設置しない。  
また、取り付けたときに前後左右に傾かないようにする。  
内部の放熱が不十分となり部品が劣化して発火・発煙のおそれがあります。  
浸水のおそれのある場所に設置しない。  
火災・感電のおそれがあります。

**注意：設置場所について**

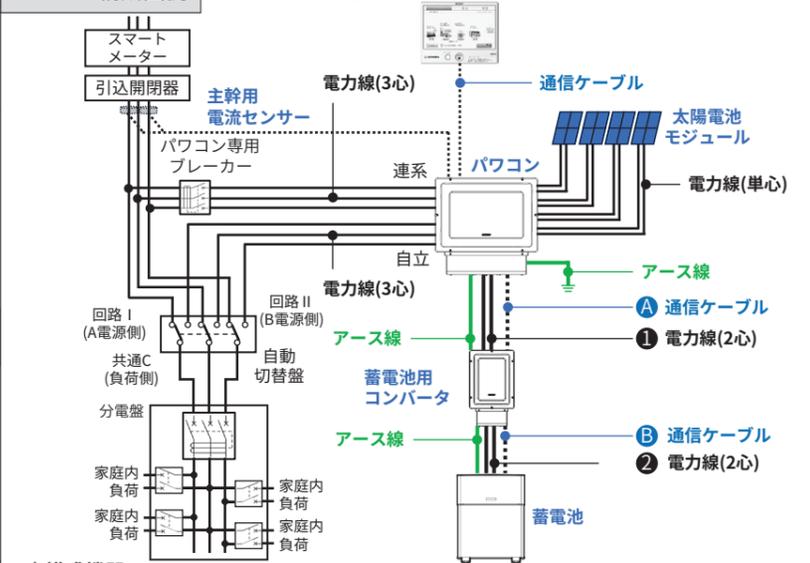
周囲の障害物までの距離は設置工事マニュアル記載の寸法を守る。  
十分に放熱ができず、機器本来の性能が発揮できないだけでなく、故障の原因となります。  
なるべく日射のあたらない場所に設置する。  
日射により内部温度が上昇し、機器本来の性能が発揮できず、故障の原因となります。  
低温にならない（-20℃を下回らない）場所に設置する。  
機器本来の性能が発揮できず、故障の原因となる場合があります。  
積雪地域への設置は、設置工事マニュアルに従って設置する。  
機器本来の性能が発揮できない場合や故障の原因となる場合があります。

岩礁隣接地域（直接海水等が飛散する地域）に設置しない。  
機器本来の性能が発揮できない場合や故障の原因となる場合があります。  
人が容易に触れる場所には設置しない。  
蓄電池用コンバータは運転中に上部が高温になり、触れると火傷のおそれがあります。  
砂塵にさらされる地域に設置しない。  
故障の原因となる場合があります。  
放送局送信アンテナと家庭用受信アンテナとの間に設置しない。  
設置場所により、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与える場合があります。  
騒音や電氣的雑音の厳しい制約を受ける場所に設置しない。  
配線から漏れる電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線やラジオなどの受信に影響を与える場合があります。

**警告**

配線終了後に以下の確認をし、指定のトルクで締め付けていることを確認してください。  
・端子台全面に圧着端子が密着していること。・引っ張ったり曲げたりしても圧着端子が動かないこと。・絶縁キャップが端子部に被っていないこと。・接触不良となり、端子台が焼損し、発煙発火のおそれがあります。

システム構成図例



◆構成機器

商品	形名	仕様	備考
パワコン	JH-40TF2	4kW定格出力	PV容量に合わせて選定
	JH-59TF4	5.9kW定格出力	
電力モニタ*	JH-RWL8	—	
蓄電池用コンバータ	JH-WDT11	—	蓄電池の台数分(最大2台)
蓄電池本体*	JH-WB2521	7.7kWh	最大2台まで
主幹用電流センサー	JH-AS52	120A/20m	いずれか1個
	JH-AS53	240A/20m	
	JH-AS54	120A/50m	

\*構成機器は今後追加変更される可能性があります。接続可能な構成機器の識別記号については、設置工事マニュアルを参照してください。

◆配線部材/その他構成機器

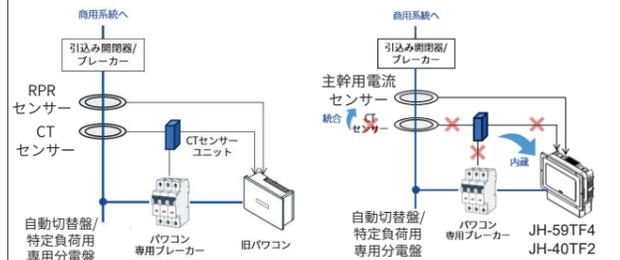
配線	No	接続箇所	手配	型名(別売品)/仕様(市販品)
電力線	①	パワコン	市販品	CV5.5mm <sup>2</sup> 2心
	②	蓄電池本体	市販品	CV8mm <sup>2</sup> 2心
通信線	A	パワコン	製品同梱	蓄電池用コンバータ同梱
	B	蓄電池本体	別売品	JH-YB102/YB202
アース線	—	パワコン	市販品	IV5.5mm <sup>2</sup> (緑色)
	—	蓄電池本体	市販品	

工具/測定器具類

- ・絶縁抵抗計（直流メガー500V）
  - ・アーステスター（接地抵抗器）
  - ・ドライバー（+）（ビットの長さが100mm以上）
  - ・精密ドライバー（-）（トルクドライバー・圧着ベンチ(次頁参照)
  - ・シーリング材（コーキング）、パテまたは変成シリコン材（低分子シリキサン低減タイプ）
- その他必要工具は適宜準備ください。

ご確認ください

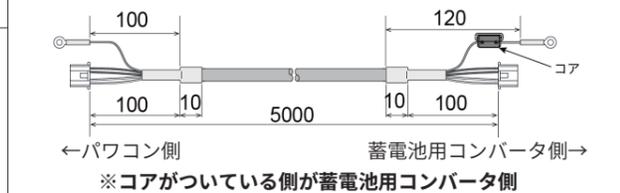
本システムは、旧システムのCTセンサーユニット(CTセンサーで計測した値を処理するユニット)の機能を内蔵しております。従い、CTセンサーユニット(JH-AS04等)を設ける必要はありません。尚、売買電力を測定する主幹用電流センサーは、蓄電池を接続するシステムのRPRセンサーの機能を兼ねるため、売買電計測用とRPR制御用として個別にセンサーを設ける必要はありません。



同梱物

品名	数量	備考
パワコン・蓄電池用コンバータ間通信ケーブル	1本	5m
8.0mm <sup>2</sup> 裸圧着端子	2個	蓄電池入出力
絶縁キャップ(白色)	2個	8mm <sup>2</sup> 用
5.5mm <sup>2</sup> 絶縁付き圧着端子(黄色)	7個	パワコン入出力、蓄電池用コンバータ入出力、アース用各3個
本体取付け金具	1枚	
本体取付け金具取付けネジ用ワッシャー	11個	
本体取付け金具取付けネジ	11個	5.5×80 六角頭
本体取付け金具連結ネジ	2個	M5×12 なべ頭
本体部固定ネジ	2個	M5×12 なべ頭
配線ボックス前カバー固定ネジ	4個	M5×12 なべ頭
配線ボックス取付け金具	1式	
配線ボックス取付け金具本体	1個	
配線ボックス側面プレート	2枚	M5×12 なべ頭 2個/枚 計4個含
配線ボックス底面プレート	1枚	M5×12 なべ頭 2個 含
配線ボックス前カバー	1個	
結束バンド	1個	
出荷検査成績書	1部	A4版
設置工事説明書	1部	A3版
重要事項のご案内	1部	A4版

◆パワコン・蓄電池用コンバータ間通信ケーブル



配線ボックス取付け金具の取付け

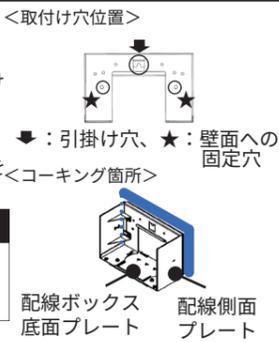
配線ボックス取付け金具の位置を決定し、真ん中1か所の引掛け穴位置をマーキングしてください。

マーキング箇所の下穴をあけ、同梱のワッシャを通した本体取付け金具取付けネジで仮止めの上、水平を確認しながら3か所のネジを壁面内の下地材に固定してください。

壁面からの配線を引き出す箇所の防水のために、壁と金具の隙間をコーキング箇所にコーキングをしておこなってください。

**注意**

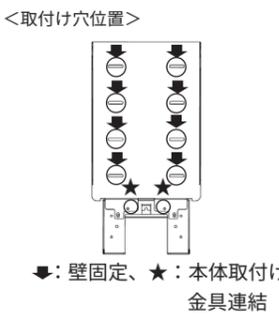
パッキンと壁面が接触する箇所は、可能な限り壁面凹部をコーキングで埋めて平坦にしてください。



本体取付け金具と配線ボックス取付け金具を本体取付け金具連結ネジ (M5×12) で2か所を2.0N・mのトルクで確実に締め付けてください。

本体取付け金具の壁固定用の穴位置(8か所)をマーキングし下穴をあけてください。

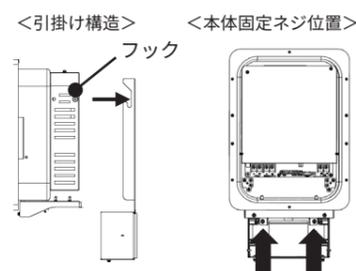
同梱のワッシャを通した本体取付け金具用取付けネジで8か所のネジを壁面内の下地材に固定してください。



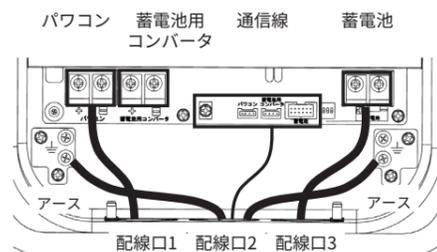
本体前面パネルのネジ6か所を取り外し、前面パネルを外してください。

本体を本体取付け金具へ引っかけてください。本体の左右の取っ手を持ち、左右のフック各1か所を本体取付け金具の溝の部分へ確実に引っかけてください。

本体と配線ボックス取付け金具を本体部固定ネジを用いて固定してください。締め付けトルクは2.0N・mです。



・本体の配線口をカバーしている黒シールを取り外してください。下図の指定配線口を通して本体内に引き込んで配線長を調整の上、端子加工処理をおこなって配線施工してください。



・各配線は同梱の圧着端子を用い、規定トルクで端子台に確実に固定してください。圧着端子の圧着は推奨の圧着工具を使用してください。

蓄電池用コンバータからの接続先	パワーコン		蓄電池	
	電力	アース	電力	アース
配線	CV 5.5mm <sup>2</sup> 2心	IV 5.5mm <sup>2</sup> 単心	CV 8mm <sup>2</sup> 2心	IV 5.5mm <sup>2</sup> 単心
圧着端子	絶縁付き	絶縁付き	裸+白キャップ	絶縁付き
圧着ペンチ	1	1	2	1
締め付けトルク	2.0~2.4N・m	2.0N・m	2.0~2.4N・m	2.0N・m

**推奨圧着ペンチ**

端子種類	推奨圧着ペンチ ( )内は適合電線径	
	マーベル製	JST製
1	5.5mm <sup>2</sup> 用 絶縁付き圧着端子 MH-055 (0.3/1.25/2.0/5.5)	YNT-1210S(5.5)
2	8.0mm <sup>2</sup> 用 裸端子 MH-8(1.25/2/5.5/8)	YHT-8S(8)

**注意**

推奨圧着ペンチを用い、適切な箇所端子を電線に圧着してください。圧着位置が適切でない場合、圧着不足により接触不良になるおそれがあります。

本体取付け金具の取付け

配線接続

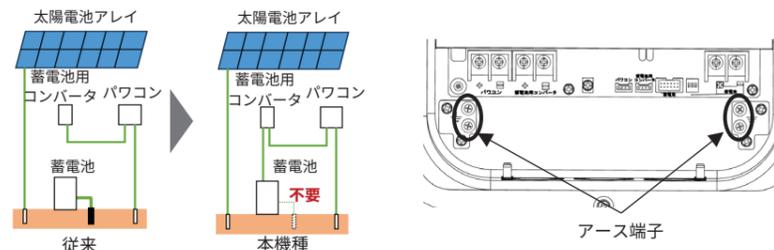
配線接続

配線後の処理

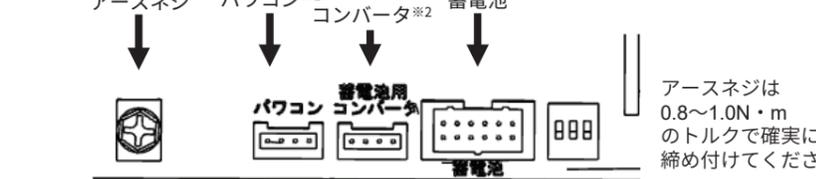
設定/運転確認

**注意**

・本システムの接地は、太陽電池アレイ、パワーコンの2点です。蓄電池用コンバータはパワーコン、蓄電池本体は蓄電池用コンバータにアース接続してください。パワーコン/蓄電池本体へのアース線は左右いずれのアース端子を使用しても問題ありません。運転中に機器が誤動作する可能性があります。



・通信線は下記に従い接続してください。



**※1 パワーコンとの通信ケーブル**

・パワーコン〜蓄電池用コンバータ間の通信ケーブルは蓄電池用コンバータに同梱されています。ケーブルは向きがあります。コア側：蓄電池用コンバータ、コアのない側：パワーコンです。

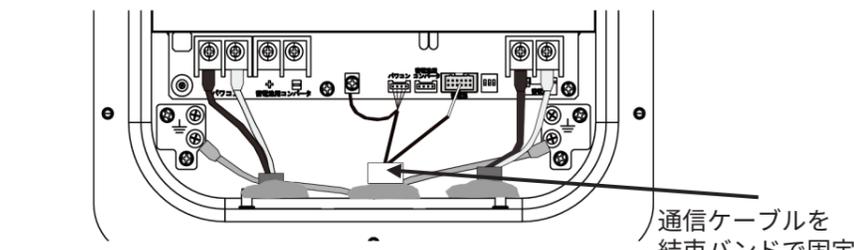
**※2 蓄電池用コンバータコネクタの使用**

・蓄電池用コンバータを複数台設置する場合に使用します。使用するコネクタは下図を確認ください。1台目と2台目の蓄電池用コンバータをつなぐ通信ケーブルのコアの位置に注意してください。



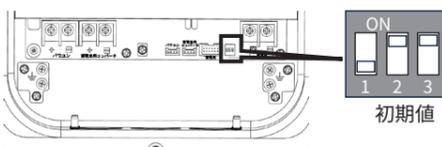
配線終了後、電力ケーブルと通信ケーブルが本体内で接触しないように、通信ケーブルを同梱の結束バンドでまとめて固定してください。

製品内部へ湿気や虫が浸入することを防止するため、本体配線口、ダクト、配線管、壁面内配線の電力線、通信線を通した配線口は、配線の隙間も含めてパテ(変成シリコンも可)で埋めてください。



設置工事マニュアルに従い、DIPスイッチの設定をおこない、配線確認、絶縁/通電確認、モニターでの初期設定後、運転確認をおこなってください。

**◆DIPスイッチの設定**



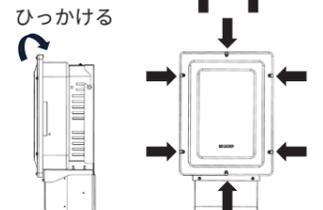
**注意**  
DCスイッチ、パワーコン専用ブレーカー、蓄電池本体内のブレーカーを全てOFFにしてDIPスイッチの設定変更をおこなってください。OFFでない場合、設定が反映されない場合があります。

スイッチ No	項目	設定		
		1台設置	2台設置	
1	アドレス設定	OFF	OFF	ON
3	終端抵抗設定	ON	OFF	ON

太字が初期値です。No.2は初期値のまま変更しないでください。

配線ボックス前カバーの取付け

【配線ボックス前カバーの取付け】  
配線ボックス前カバーを配線ボックス部へ取付けてください。同梱の配線ボックス前カバー固定ネジM5×12mmで4か所を固定してください。2.0N・mのトルクで確実に締め付けてください。

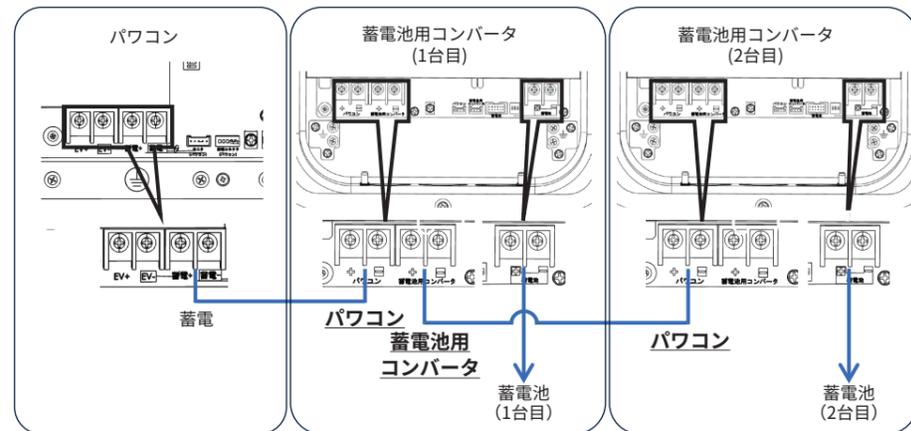


【本体前面パネルの取付け】  
本体前面パネルを本体部へ取付けてください。本体前面パネルを取り外したネジで6か所を固定してください。2.0N・mのトルクで確実に締め付けてください。

参考情報

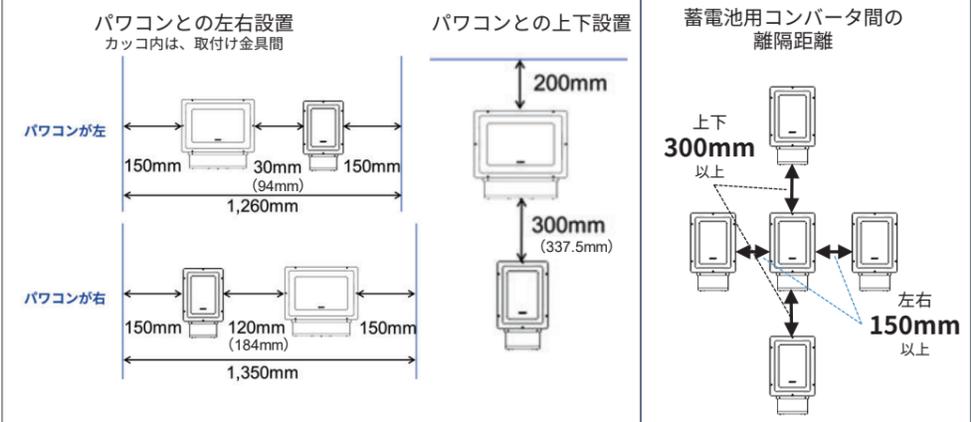
**◆蓄電池複数台設置時の配線**

下図に従い、蓄電池用コンバータ2台の接続をおこなってください。特に太字の箇所の接続誤りなきよう注意してください。



**◆複数台設置時の離隔距離**

蓄電池用コンバータは、周囲温度が高い場合など、本体温度が一定値を超えると温度を下げるために出力を抑制します(温度抑制機能)。蓄電池用コンバータが、隣接する機器の排熱影響を受けないよう、下記の距離を設けて設置してください。



**◆本体への配線引込み**

配線ダクトを使用する場合は、配線ボックス側面プレート/底面プレートに配線ダクトを接続することが可能です(下図は左右の配線引き込み例)。

